

一般国道56号 ^{つしま}津島道路

事業再評価

(要点審議)

平成29年10月17日



国土交通省四国地方整備局

一般国道56号 津島道路

事業の目的

四国8の字ネットワークの一部であり、規格の高い信頼性のあるネットワークを延伸し、愛媛中心部と南予・高知西南地域の連携強化を図るほか、災害時における広域交通ネットワーク確保を図る高規格幹線道路である

位置図



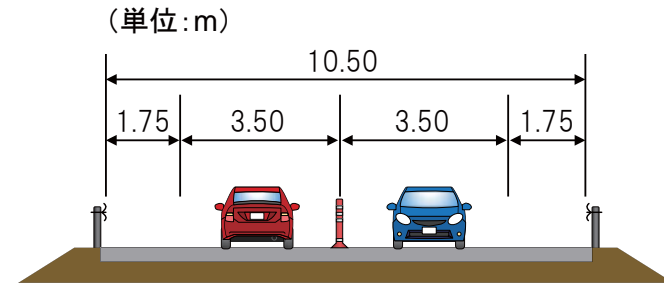
平面図



事業計画等

- 事業着手：平成24年度
- 整備区間：愛媛県南宇和郡愛南町柏～愛媛県宇和島市津島町岩松
- 事業延長：10.3km
- 標準幅員：10.5m(インターチェンジ区間12.0m)
- 構造規格：第1種第3級

標準断面図



費用対効果分析結果

- 全体事業費：422億円(前回(H26)再評価時:422億円)
- 計画交通量：6,800台/日(前回(H26)再評価時:6,800台/日)
- 費用便益比：事業全体:1.1、残事業:1.2(前回(H26)再評価時:事業全体:1.1、残事業:1.2)

主な事業効果等

- 南海トラフ地震発生時の津波浸水想定区域を回避し、緊急輸送道路のリダンダンシーの確保。
- 三次医療施設(市立宇和島病院)への搬送時間が短縮し、重篤患者の救命率向上が見込まれる。
- 愛媛中心部への地場製品の流通の利便性が向上
- 南予・高知西南地域への観光アクセスを支援

凡例

- 高速道路
- 一般国道(指定区間)
- 一般国道(指定区間外)
- 主要地方道
- 一般県道
- その他の道路

一般国道56号 津島道路

整備効果事例

- 四国西南地域は、南海トラフ地震による強い揺れや津波により甚大な被害が想定されている。
- 第1次緊急輸送道路である国道56号(現道)は、南海トラフ地震時の津波浸水により通行不能が懸念される。
- 津島道路の整備により、津波浸水区域を回避し広域道路啓開のための進出ルートが確保され、災害時における安全性・信頼性が確保される。

事業区間及び国道56号津波浸水予測区間



資料：愛媛県「津波防災地域づくりに関する法律に基づく津波浸水想定(平成25年6月10日)を基に作成

写真①

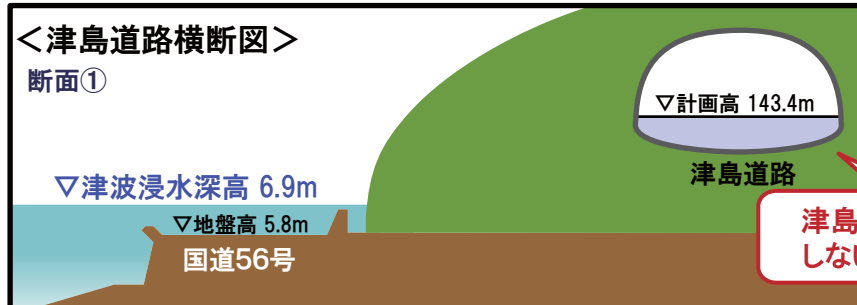


津波浸水想定箇所を通過する国道56号

四国おうぎ(扇)作戦における役割



津波浸水予測区間における路面高・浸水深高の比較



津島道路は津波に浸水しない場所・高さで計画

資料：愛媛県「津波防災地域づくりに関する法律」に基づく津波浸水想定(平成25年6月10日)を基に作成

凡例

- 進出ルート
- 進出ルート(代替ルート)
- 防災拠点
 - 出発エリア
 - 出発拠点
 - 集結エリア
 - 集結拠点

資料：四国道路啓開等協議会「四国広域道路啓開計画」(平成28年3月)

一般国道56号 津島道路

前回再評価時からの事業進捗見込み等の変化

- 事業進捗率は約 **7%** H29.3末(前回約1% H26.3末)
- 用地進捗率は約**26%** H29.3末(前回約0% H26.3末)
- 内海IC～津島南IC間の用地買収、**橋梁・改良工事等**を推進中

地域から頂いた主な意見等

○愛媛県、宇和島市、西予市、愛南町、宿毛市、黒潮町、四国西南地域道路整備促進協議会、国道56号一本松・宇和島間整備促進協議会等より本事業の整備促進について、積極的な要望活動が続けられている。

H27.6・7・11・12、H28.2・7・11・12、H29.1・5・7

県知事の意見

○津島道路は、四国8の字ネットワークの一部を形成するとともに、南予地域の活性化や大規模災害発生時の対応においても重要な役割を担うまさに「地方創生の道」「命の道」であるため、早期供用に向けさらなる事業促進をお願いします。

対応方針(原案)

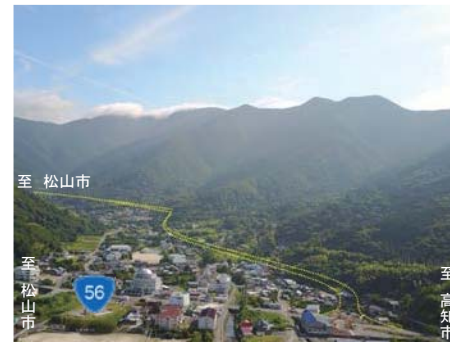
- 事業継続

平面図



進捗状況写真

写真②



進捗状況
(内海IC(仮称)付近改良工事)

写真③



進捗状況
(内海IC(仮称)付近橋梁工事)